

平成 28 年 6 月 27 日

各 位

香 川 県 高 松 市 鍛 冶 屋 町 7 番 地 1 2
穴 吹 興 産 株 式 会 社
代表取締役社長 穴 吹 忠 嗣
(コード番号 8928 東証第一部)
問い合わせ先 専務取締役 富岡 徹也
管理本部長
電 話 番 号 0 8 7 (8 2 2) 3 5 6 7

当社子会社（株式会社クリアナブキ）における業績予想の修正のお知らせ

当社子会社の株式会社クリアナブキでは、平成 28 年 5 月 11 日に公表しました平成 29 年 3 月期 第 2 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）及び 通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想の修正に関して、別紙のとおり開示しておりますので、お知らせいたします。

なお、この修正による当社の連結業績に及ぼす影響は軽微であり、現時点で当社の連結業績予想についての修正はありません。

以 上



平成 28 年 6 月 27 日

各 位

会社名 株式会社 クリエアナブキ
代表者名 代表取締役社長 藏 田 徹
(J A S D A Q ・ コード番号 4336)
問合せ先 取締役執行役員管理部長 上 口 裕 司
T E L . 0 8 7 - 8 2 2 - 8 8 9 8 (代 表)

事業の一部譲渡 及び 子会社の異動を伴う株式の譲渡

並びに 特別利益の計上 及び 平成 29 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年6月27日開催の取締役会において、① 平成28年7月1日をもって当社東京支店に係る人材派遣事業を株式会社トヨタエンタプライズに事業譲渡すること 及び ② 平成28年7月12日をもって当社の完全子会社である株式会社クリエ・イルミネートの株式を溝端二三雄氏（同社代表取締役）ほか1名に全部譲渡することの2件を決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

また、当該2件の決議事項の実行によりそれぞれ特別利益が発生することから、平成29年3月期 第2四半期累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）及び 通期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の業績について、平成28年5月11日付 当社「平成28年3月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想を修正いたしましたので、下記のとおり、併せてお知らせいたします。

なお、本件開示は、平成28年5月11日付 当社「事業の一部譲渡に関する基本合意書締結のお知らせ」にて公表いたしました事実について、その公表時点において未確定であった部分が確定いたしましたこと及び当初予定どおりに事業譲渡契約が締結されることをお知らせするものであります。

記

I. 株式会社トヨタエンタプライズへの事業の一部譲渡について

1. 事業譲渡の理由

当社は、「中四国No.1」の総合人材サービス企業への飛躍をめざして、平成 27 年 10 月に株式会社ミウラチャレンディを子会社化するなど、主力の人材派遣事業を中心に、中四国での売上高・市場シェアの拡大に取り組んでおります。その一方、同業他社との競争が激しい大都市圏では、中四国へのUJIターン転職支援や企業の求人・採用活動に関するコンサルティングといった付加価値の高い事業への傾注を通して、安定収益の確保を図っております。

この方針の下、当社は、首都圏での人材派遣事業の拡大をめざす株式会社トヨタエンタプライズに対し、当社東京支店に係る人材派遣事業を譲渡することを決定いたしました。

今回の事業譲渡を機に、強みを有する四国での派遣営業に一段と注力するとともに、中四国重視と収益性向上の視点に立った営業戦略の徹底により、増収増益基調への早期回帰をめざしてまいります。

2. 事業譲渡の概要

(1) 譲渡する部門の内容

当社東京支店に係る人材派遣事業

(2) 譲渡する部門の経営成績

前期（平成 28 年 3 月期）における売上高は 143 百万円であり、前期の連結売上高 6,570 百万円の 2.2% を占めております。

なお、当該部門の経常利益については、支店における事業の一部であるため、算出しておりません。

(3) 譲渡する部門の資産、負債の項目及び金額

本件において、当社が譲渡する資産及び負債はありません。

(4) 譲渡価額及び決済方法

譲渡価額： 14,400,000 円（税抜）

但し、一定期間内に、譲渡部門の派遣労働者数が一定数を下回った場合には、上記価額から相当程度の減額を行うこととしております。

決済方法： 現金

3. 相手先の概要

① 名 称	株式会社トヨタエンタプライズ	
② 所在地	名古屋市中村区名駅四丁目 4 番 10 号	
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 河合 和之	
④ 事業内容	セキュリティサービス、ヒューマンサポート、清掃・設備管理 ほか	
⑤ 資本金	120 百万円	
⑥ 設立年月日	昭和 27 年 10 月 23 日	
⑦ 純資産	3,393 百万円（平成 28 年 3 月 31 日現在）	
⑧ 総資産	10,487 百万円（平成 28 年 3 月 31 日現在）	
⑨ 大株主及び持株比率	トヨタ自動車㈱ 100.0%	
⑩ 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 日 程

① 基本合意書締結日	平成 28 年 5 月 11 日
② 取締役会決議日	平成 28 年 6 月 27 日
③ 事業譲渡契約締結日	平成 28 年 6 月 27 日（予定）
④ 事業譲渡期日	平成 28 年 7 月 1 日（予定）

（注）本件は会社法第 467 条に定める事業の重要な一部の譲渡に該当しないことから、当社は事業譲渡契約承認のための株主総会を開催いたしません。

5. 会計処理の概要

「Ⅲ. 特別利益の発生及びその内容について」に記載のとおりであります。

6. 今後の見通し

「Ⅳ. 平成 29 年 3 月期 業績予想の修正について」に記載のとおりであります。

II. 子会社の異動を伴う株式の譲渡について

1. 株式譲渡の目的

「I. 株式会社トヨタエンタプライズへの事業の一部譲渡について 1. 事業譲渡の理由」に記載のとおり、当社は、「中四国No.1」の総合人材サービス企業への飛躍をめざして、中四国では、主力の人材派遣事業を中心に売上高・市場シェアの拡大に取り組む一方、大都市圏においては、付加価値の高い事業に傾注することにより、安定収益の確保を図っていく方針であります。

この方針の下、当社は、首都圏でIT関連事業を営む株式会社クリエ・イルミネートについて、最近の同社の経営成績、将来における当社グループの他の事業との相乗効果に対する期待の低下などを考慮して、同社の全株式を譲渡することを決定いたしました。

2. 異動する子会社の概要

① 名 称	株式会社クリエ・イルミネート (注)			
② 所 在 地	東京都港区虎ノ門三丁目18番16号			
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 溝端 二三雄			
④ 事 業 内 容	IT関連事業			
⑤ 資 本 金	10百万円			
⑥ 設 立 年 月 日	平成18年4月24日			
⑦ 大株主及び持株比率	㈱クリエアナブキ 100.0%			
⑧ 上場会社と当該会社の関係	資 本 関 係	当社の連結子会社（出資比率100.0%）であります。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。 なお、当該会社の直近の定時株主総会の終結の時（平成28年5月30日）まで、当社の取締役3名が当該会社の役員を兼任しておりました。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。 なお、過去において、当社は、当該会社との間に、人材派遣等の取引関係がありました。		
⑨ 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
純 資 産		74百万円	74百万円	53百万円
総 資 産		101百万円	95百万円	60百万円
1株当たり純資産額		374,019円74銭	373,965円71銭	267,239円82銭
売 上 高		153百万円	119百万円	93百万円
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)		20百万円	0百万円	△11百万円
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)		20百万円	0百万円	△11百万円
当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 (△)		12百万円	△0百万円	△21百万円
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額(△)		64,986円97銭	△54円03銭	△106,725円89銭
1株当たり配当金		—	—	175,000円00銭

(注) 平成28年7月1日付で、「株式会社イルミネート・ジャパン」に商号変更する予定であります。

3. 株式譲渡の相手先の概要

其の1

① 氏名	溝端 二三雄
② 住所	大阪府松原市
③ 上場会社と当該個人の関係	当社と当該個人の間には、資本関係、人的関係及び取引関係はありません。 なお、当該個人は株式会社クリエ・イルミネートの代表取締役であり、 当社は同社との間に、「2. 異動する子会社の概要 ⑧ 上場会社と当該会社の関係」に記載の関係があります。

其の2

① 氏名	延原 理恵
② 住所	東京都港区
③ 上場会社と当該個人の関係	当社と当該個人の間には、資本関係、人的関係及び取引関係はありません。 なお、当該個人は株式会社クリエ・イルミネートの従業員であります。

4. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

① 異動前の所有株式数	200株 (議決権の数：200個) (議決権所有割合：100.0%)
② 譲渡株式数	200株 (議決権の数：200個)
③ 譲渡価額	17百万円
④ 異動後の所有株式数	一株 (議決権の数：一個) (議決権所有割合：-%)

5. 日程

① 取締役会決議日	平成28年6月27日
② 契約締結日	平成28年6月27日(予定)
③ 株式譲渡実行日	平成28年7月12日(予定)

6. 今後の見通し

「Ⅲ. 特別利益の発生及びその内容について」及び「Ⅳ. 平成29年3月期業績予想の修正について」に記載のとおりであります。

Ⅲ. 特別利益の発生及びその内容について

「Ⅰ. 株式会社トヨタエンタプライズへの事業の一部譲渡について」に記載の理由により、当期(平成29年3月期)において特別利益(事業譲渡益)14百万円を計上いたします。

また、「Ⅱ. 子会社の異動を伴う株式の譲渡について」に記載の理由により、当期において特別利益(投資有価証券売却益)7百万円を計上いたします。

IV. 平成 29 年 3 月期 業績予想の修正について

1. 業績予想の修正の内容

(1) 連結業績予想の修正

① 平成 29 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 連結業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,361	22	23	4	1.73
今回修正予想 (B)	3,361	22	23	19	8.22
増減額 (B-A)	0	0	0	+15	
増減率	0.0%	0.0%	0.0%	+375.0%	
【ご参考】前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	3,081	64	66	42	18.19

② 平成 29 年 3 月期 通期 連結業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,858	100	100	54	23.35
今回修正予想 (B)	6,858	100	100	69	29.84
増減額 (B-A)	0	0	0	+15	
増減率	0.0%	0.0%	0.0%	+27.8%	
【ご参考】前期実績 (平成 28 年 3 月期)	6,570	92	95	28	12.36

(2) 個別業績予想の修正

① 平成 29 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 個別業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,195	5	44	36	15.57
今回修正予想 (B)	2,195	5	44	51	22.05
増減額 (B-A)	0	0	0	+15	
増減率	0.0%	0.0%	0.0%	+41.7%	
【ご参考】前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	2,126	3	3	3	1.34

② 平成 29 年 3 月期 通期 個別業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,457	46	85	60	25.95
今回修正予想 (B)	4,457	46	85	75	32.43
増減額 (B-A)	0	0	0	+15	
増減率	0.0%	0.0%	0.0%	+25.0%	
【ご参考】前期実績 (平成 28 年 3 月期)	4,372	6	35	24	10.69

2. 業績予想の修正理由

(1) 連結業績予想の修正理由

① 第2四半期累計期間

(a) 売上高、営業利益 及び 経常利益

前回発表予想から変更はありません。

なお、「Ⅰ. 株式会社トヨタエンタプライズへの事業の一部譲渡について」に記載の理由による影響（売上高 60 百万円、営業利益 9 百万円、経常利益 9 百万円の減少）及び「Ⅱ. 子会社の異動を伴う株式の譲渡について」に記載の理由による影響（売上高 20 百万円の減少 及び 営業利益 0 百万円、経常利益 0 百万円の増加）は、平成 28 年 5 月 11 日付 当社「平成 28 年 3 月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想に織り込んでおります。

(b) 親会社株主に帰属する四半期純利益 及び 1 株当たり四半期純利益

「Ⅲ. 特別利益の発生及びその内容について」に記載の理由により、合計 21 百万円の特別利益を計上することから、前回発表予想を上回る見込みであります。

② 通期

(a) 売上高、営業利益 及び 経常利益

前回発表予想から変更はありません。

なお、「Ⅰ. 株式会社トヨタエンタプライズへの事業の一部譲渡について」に記載の理由による影響（売上高 100 百万円、営業利益 15 百万円、経常利益 15 百万円の減少）及び「Ⅱ. 子会社の異動を伴う株式の譲渡について」に記載の理由による影響（売上高 64 百万円、営業利益 2 百万円、経常利益 2 百万円の減少）は、平成 28 年 5 月 11 日付 当社「平成 28 年 3 月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想に織り込んでおります。

(b) 親会社株主に帰属する当期純利益 及び 1 株当たり当期純利益

「① 第2四半期累計期間 (b) 親会社株主に帰属する四半期純利益 及び 1 株当たり四半期純利益」に記載のとおりであります。

(2) 個別業績予想の修正理由

① 第2四半期累計期間

(a) 売上高、営業利益 及び 経常利益

前回発表予想から変更はありません。

なお、「Ⅰ. 株式会社トヨタエンタプライズへの事業の一部譲渡について」に記載の理由による影響（売上高 60 百万円、営業利益 9 百万円、経常利益 9 百万円の減少）は、平成 28 年 5 月 11 日付 当社「平成 28 年 3 月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想に織り込んでおります。

(b) 四半期純利益 及び 1 株当たり四半期純利益

「(1) 連結業績予想の修正理由 ① 第2四半期累計期間 (b) 親会社株主に帰属する四半期純利益 及び 1 株当たり四半期純利益」に記載のとおりであります。

② 通期

(a) 売上高、営業利益 及び 経常利益

前回発表予想から変更はありません。

なお、「I. 株式会社トヨタエンタプライズへの事業の一部譲渡について」に記載の理由による影響（売上高 100 百万円、営業利益 15 百万円、経常利益 15 百万円の減少）は、平成 28 年 5 月 11 日付当社「平成 28 年 3 月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想に織り込んでおります。

(b) 当期純利益 及び 1 株当たり当期純利益

「(1) 連結業績予想の修正理由 ① 第 2 四半期累計期間 (b) 親会社株主に帰属する四半期純利益 及び 1 株当たり四半期純利益」に記載のとおりであります。

(注) 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものですが、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上